

報 告

平成五年度大会の概況 日本思想史学会平成五年度大会は、十一月二十七日（土）・十一月二十八日（日）の両日、皇学館大学を会場として開催された。

第一日は、「国学研究の現在」をテーマにシンポジウムが行われた。発表者と発表題目およびコメンテーター、司会者は次の通りである。

一、「新国学」

コメンテーター

静岡県立大学 中村生雄
福山市立女子短期大学 天艸一典

一、「明治国学」

コメンテーター

國學院大学 阪本是丸
皇学館大学 松浦光修

一、「幕末国学」

コメンテーター

日ノ本短期学園大学 桂島宣弘
宮城教育大学 本郷隆盛

国学研究の現在

大阪大学 子安宣邦

司 会

東北大学 玉懸博之
皇学館大学 白山芳太郎

シンポジウム終了後、総会が行われ、事務局より平成四年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて事務局より平成五年度事業計画および予算案が提案され、それぞれ事務局案通り決定された。

引き続き、丸二ホテル伊勢において懇親会が催された。

第二日は、研究発表が行われた。発表者は次の諸氏である。

- | | | | |
|---------------------------------------|------------|----|-----|
| 1、北島親房における「公」と「私」 | 筑波大学大学院 | 下川 | 玲子 |
| 2、宮本武蔵における「道」 | 国際武道大学 | 魚住 | 孝至 |
| 3、史料批判の基礎——江戸時代の神社研究—— | 昭葉科大学 | 古田 | 武彦 |
| 4、横井小楠における『天』観念の原理的転生 | 国士館大学 | 榎原 | 孝敏 |
| 5、西田哲学における意識の問題 | 静岡県立大学 | 平山 | 洋 |
| 6、柳田国男における国民形成と公民形成 | 青森明の星短期大学 | 成田 | 育男 |
| 7、最澄の戒律思想——「菩薩」観をめぐって—— | 東京大学大学院 | 上原 | 雅文 |
| 8、空海の神祇観 | 高野山大学 | 村上 | 保壽 |
| 9、貞慶の悪人正機説について | 筑波大学大学院 | 清水 | 邦彦 |
| 10、高弁の修業論における菩提心の意義——『入門解説門義』を中心として—— | 学習院大学大学院 | 島田 | 健太郎 |
| 11、叡尊における戒律と護国 | 東北大学大学院 | 吉原 | 健雄 |
| 12、〈慚愧〉考——「恥の文化」論・検討をふまえて—— | 仏教大学院 | 池見 | 澄隆 |
| 13、徂徠以後への視点 | 大阪大学大学院 | 宇野 | 尚哉 |
| 14、広瀬淡窓の人間論的考察 | 日本女子大学 | 田中 | 加代 |
| 15、一八・一九世紀日本儒教とナショナリズム | 広島大学 | 中村 | 春作 |
| 16、富士谷御杖の言語論 | 東北大学大学院 | 畑中 | 健二 |
| 17、平田篤胤と蘭学——江戸後期における新たな知性の誕生—— | 国際基督教大学大学院 | 星山 | 京子 |
| 18、三河献糸会運動と三河蚕糸考——羽田野敬雄と古橋暉兒—— | 東京家政学院大学 | 芳賀 | 登 |